



教材名	筆談パット		紹介者	細川小学校
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="258 465 434 640">  <p data-bbox="284 660 424 692">筆談パット</p> </div> <div data-bbox="692 434 1264 860">  </div> </div>			
教材の紹介	<p>本学級は、視覚障害学級である。弱視の児童の視覚補助具として、単眼鏡と合わせて iPad を使用している。カメラアプリの次によく活用するのが「筆談パット」というアプリである。弱視の児童は、接近して見る場合がある。文字指導において「筆談パット」を使うと、筆順の確認をするときに見やすい距離で確認できる。自分側、相手側で違う色の文字になっていて、なぞり書きもできる。</p>			
製作・ 入手方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ App ストア 「筆談パット」</li> <li>・ 価格 無料</li> </ul>			
子どもの 反応等	<p>弱視の児童は、字を読むときにより近い距離で見ると、筆順の確認をするのに、紙上を指でなぞることもできず、また、空書きをしても見づらい。このアプリを使うと、お互いのストレスが少なく済むように思う。</p> <p>弱視の場合、字形の認識が難しいため、漢字の習得が困難である。iPad を使うことで学習意欲も高まっている。また、書き直しが何度もできることもよい。</p>			